

なかよしさいくる

新歓特別号

一路順風



目次

サークル紹介 2

なかよしさいくるの一年 6

車種紹介 10

新車・備品購入報告 13

東京→京都の旅 第2回 18

編集後記 25

2016年度メンバーに聞きまして
アンケートから見る

サークル紹介



基本情報

なかよしさいくる（通称NC）は東京大学を中心とするインカレ自転車サークルです。構成員は各学年30人ほど。1年、2年が中心となって活動しますが、3年以上の先輩方やOBの方もたくさん遊びに来てくださいます。東大生が8割ほどを占めますが、東京女子大、日本女子大、早稲田、慶応など様々な大学のメンバーで構成されています。女子比率は2割弱くらいかな？40年以上の歴史があるサークルです。



（↑これがロードバイク。マイバイクを買った時の喜びは忘れられない。ちなみに1年生の間は、サークルが所有するロードバイクを借りられるので、いきなり自転車を買うつもりはないな……という方でも気軽に活動に参加できるよ！！←※重要）

ロードバイクとは

このサークルに所属するメンバーのほとんどは「ロードバイク」と呼ばれる自転車に乗っています。ロードバイクとは、主に舗装路を高速で走るために設計された自転車のことです。ママチャリとは全く別物です。タイヤが細く、サドルが高く、ハンドルも変な風に曲がっています。初めて乗る時は少し怖いかもしれませんが、慣れば驚くほどの速度が出るのでその爽快感はやみつきです。どんな種類のロードバイクがあるのかは奥が深すぎてこの紙面では紹介できないので、割愛します。笑。自転車屋が開けそうなくらい部品を集めて自転車のカスタムを楽しんでるメンバーや、メーカーの流通事情に精通しているメンバーもいるので、詳しくは彼らに聞くのが一番です（ω）

新入生のみなさんご入学おめでとうございます！新しい環境にはまだまだ慣れないと思います。新生活への準備・履修決め・部活サークル決めなど、これからも忙しいですね。体調には気を付けて是非楽しんでください。そしてその中で、このなかよしさいくるというサークルに興味を持って下さりありがとうございます！新3年生の森田理紗子です。

この記事では、ロードバイクって何？なかよしさいくるってどんなサークルなの？という疑問にどんどんお答えしていきたいと思います。皆さんの部活サークル決めの一助になればと思います。

記事を書いていて思ったのはやはりなかよしさいくるは最高のサークルだということ！みなさんの大学生活をより充実させてくれること間違いなしです！（^^）



（↑北海道の道！爽快！）

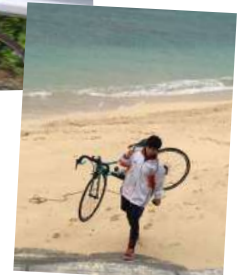
活動内容

- ・定期サイクリング（通称定サイ）とは月1回、関東近郊に日帰りでサイクリングに行くことです。担当になったメンバーがルートを自由に組みます。新緑の山を走ったり、海沿いを走ったり、ご当地グルメを目指したりと、様々なプランが計画されます。
- ・長期休暇中には、合宿が行われ、日帰りでは行けない遠方の地を走りに行きます。北海道や沖縄も走りました。
- ・定例会とは月1回、駒場キャンパスで集まって、定サイを振り返って反省をしたり、次のサイクリングの計画を立てたりすることです。
- ・安全意識の向上を目的する会議や、走行中のトラブルに対処するための講習会なども開かれます。
- ・月1回じゃ物足りない、というメンバーは仲間を募ってどんどん走ります。ひたすら峠を登ったり、ブルベに参加したり、クリスマスイブにイルミネーションを見に行ったり。自転車の色々な楽しみ方を知ることができます。



（↑ロードバイクに乗る男子はイケメン度5割増したと思う。（主観）

（→ロードバイク担ぐ女子もイケメン）



ここからは、同期に答えてもらったアンケート結果をもとに、自転車の魅力となかよしさいくるの魅力を探っていきたいと思います。

自転車を始めたきっかけ

- ・なんとなく
- ・弱虫ペダル
- ・同クラなフレンズが乗ってた
- ・友達に誘われて
- ・趣味
- ・実家の周辺をよくローディーが通っていて、見かける度に自分も乗ってみたいと思っていたから
- ・必然
- ・このサークル
- ・たのしそうっておもった
- ・歩くより速そうだから
- ・初めてクロスバイクに乗った時に感動を覚えた。
- ・もともとクロスバイクに乗って出かけるのが好きだったけどロードバイクだったらさらに遠くに行けそうで、楽しそうだなって思ったから！
- ・たのしー！
- ・高校の時にママチャリで旅をしていたから。
- ・中高でチャリ通だったから
- ・通学にママチャリを使っていて走るのが好きになっていた
- ・NCに入ったこと
- ・NCに入ったから
- ・昔から好きで気づいたらロードバイクを買ってた
- ・高校同期に誘われて
- ・伊豆大島一周

ママチャリやクロスバイクに乗っているうちに、ロードバイクにも乗ってみたいと思うようになったという人が多いみたいですね。私自身は中高ほとんど自転車に乗る機会がなかったので、NCの新歓イベントで初めて自転車に乗る楽しさを知りました。

自転車の魅力

- ・爽快感
- ・気持ちいい
- ・コアな部分まで観光できる
- ・走ると爽快なとこ？ あとは自走すれば交通費がかからないこと
- ・速く走れる
- ・自力で進むから目的地に到着した時の喜びが大きいところ
- ・思わぬ人や場所に会えるところ
- ・いい景色がみられる達成感
- ・風を感じられるところ
- ・フォルム、素材
- ・自由。
- ・歩きだと行けない遠いところに行けるし、車だと見逃してしまうような絶景とか小さなスポットを訪れることが簡単にできてしまう
- ・たのしー！
- ・歩くより速く、バイクや車より遅い。
- ・旅ができる
- ・フットワークが軽くてどこ行くにも使えるから行動範囲広がるー
- ・地球環境に優しい
- ・鉄道旅でも車旅でも見えない旅先の様子が見える
- ・風を感じられる
- ・ぼっちで許される

自転車の魅力は何といっても走っている時の爽快感ですね。人力で時速30キロも40キロも出せるのは驚きです。あと車などと違い、身一つで走るのも、旅先の空気とかも肌で感じられます。景色もより美しく見えると思います。回答にも多いですが、小回りが利くっていうのもポイントですよ。ふらっと降りて旅を満喫できます。フォルム、素材を魅力に感じるのは上級者ですね……。みんなでワイワイ走るのも楽しいですし、確かにぼっちで一人の世界に浸って走るのも楽しいです。

NCに入った決め手

- ・新歓ランが楽しかった
- ・ゆるそう
- ・雰囲気よかった
- ・同期がいたので
- ・友達
- ・活動の参加が任意なところ
- ・ホムペ
- ・サークルの雰囲気が良いこと
- ・サークル員の仲がいいところ
- ・先輩に勧められ
- ・ゆるくて楽しそう
- ・束縛が緩い。けど活動はしっかりしてる。
- ・水泳をやっていたら運命の出会いをした！
- ・たのしー！
- ・競技班でもなく、旅行班でもなく、と言ったらNCしかない(笑)
- ・ちょうどいいゆるさ
- ・新歓ランで初めてロードバイクに乗った時の感覚？ですかね
- ・ロードバイクをタダで借りれること
- ・名前と裏腹に健全なサークルだったから
- ・初参加の時の雰囲気
- ・部活でなくサークルだから
- ・同クラがいたから
- ・知り合いがいる

そう、NCは雰囲気がいいんです。絶妙なゆるさ。新歓イベントにぜひ来てみてください。

NCのいいところ

- ・ゆるい
- ・全て
- ・優しい人しかいない。優しさに満ちている
- ・ゆるふわ
- ・坂も攻められるしゆっくり観光もできる！
- ・仲がいいゆるい
- ・走れる人はそうでない人に合わせた走りをしてくれるところ
- ・優しい優しい優しい
- ・仲がいい、平和
- ・適度に気を遣わなくて済む関係
- ・ゆるゆるしてる
- ・ゆるくて楽しい
- ・しっかり活動してるけど束縛は緩いところ。
- ・とにかく、たのしい♪
- ・わーい！すごーい！たのしー
- ・強制参加のイベントがない
- ・いつでも参加OK
- ・ゆるい、平和
- ・真面目なところと適当なところ、メリハリがついてる
- ・誰でもウェルカムな雰囲気
- ・わいわいしてる
- ・自由 無駄にお金がかからない

めっちゃいいサークルですね。(驚き)確かに、自転車に関する知識も、体力も、走る技術もバラバラなのに、みんなお互いを思いやって仲良くやっている感じですよ。強制参加や用途のわからない集金、飲み会での無理強いなんかとも無縁です。





自転車を始めて変わったこと

NC のダメなところ

- ・なし
- ・ない
- ・なかよしタイム
- ・ないぞ～
- ・なかよしたいむ
- ・最近改善されつつあるにしても時間にルーズ気味なところ
- ・さん付け
- ・時間管理ができない
- ・ゆるゆるしすぎ
- ・ゆるくて楽しい
- ・自由度がとても高いのでいまだに知らないメンバーがいる…
- ・親睦会みたいなのが少ない
- ・時間にルーズ・名前
- ・飲みが平和すぎ
- ・女子が少ない
- ・時間にルーズ、参加率
- ・特になし
- ・ゆるい
- ・車通りの多い都心部ではなかなか活動できない(仕方ないけど)

NC は十分素敵なサークルなのですが、あえて欠点を挙げるとすれば、平和すぎてことですね。刺激を求める方には物足りないかもしれません。女子はこれから増えると期待しています。これを読んでいる貴女！ぜひ入部してね。あと、なかよしたいむとは、なかよしさいくる特有のゆるさゆえのグダグダタイムのことです。

NC の第一印象と今の印象

- ・今も昔も最高
- ・第一印象：仲良さげ 今：仲いい！みんな優しい
- ・予想通り
- ・はじめ：ゴリゴリ走るサークル 今：ゆるふわ旅行さーくる
- ・ゆるい
- ・第一印象：怪しいサークル名 今の印象：安心安全
- ・静か→良い意味で静か
- ・ダラダラしていると思ったがやはりそうだった
- ・つよそう→ゆるふわ
- ・ゆるくて楽しそう(今も昔も)
- ・第一：緩そう、今：割としっかりしてる。
- ・東大生ばかりだから入りづらいかな…と思ってたけどみんなフレンドリーだし、自由で明るくて楽しすぎる
- ・第一印象：わーい！すごい！ 今：たのしー！
- ・今も当初も、自転車好きの緩い共同体
- ・ゆるそう→ゆるい
- ・第一印象はにぎやかだけどほのぼのした印象？それは今も変わらないかな
- ・ゆるい→真面目
- ・皆良い人→皆良い人
- ・緩そう楽しそう→自転車好き多い
- ・フレンドリー

「なかよしさいくる」はこれが公式の名前なんです。「なんていうサークル入ってるの？」と聞かれて「なかよしさいくるだよ」と答えるのは確かに憚られますがご理解ください。私の印象は、ゆるい→割と真面目、でしょうか。サークル運営や安全意識など、真面目にすべきところは真面目なサークルだと最近思います。



- ・交通費にケチになった
- ・根性ついた
- ・足が(筋肉で)太くなりました
- ・走行距離
- ・行動範囲が広がったこと
- ・足が太くなったツライ
- ・任意の坂の斜度が気になる
- ・外に出ることがふえた
- ・車が嫌いになった
- ・交通ルールに厳しくなった。
- ・世界が広がった ^ ^
- ・坂道が好きになった。かも。
- ・30km は近場。
- ・外に出るようになった
- ・距離感覚の変化。20km とか近く思える。
- ・都内のスポットならとりあえず自転車で行かない？みたいになる。
- ・運動不足解消
- ・坂を見ると反射的に斜度を考えてしまう
- ・坂を見ると斜度を気にするようになった 東京は狭いと思うようになった
- ・自転車ってきついものなんだなあ
- ・日焼けした
- ・道交法に敏感になり安全意識が強くなった

私が思う変化は、雑談のネタが増えたことかな。「自転車で富士山登ったんですよー。」とか言うのと初対面の人でも興味を持ってくれます。行動範囲も広がりました。「この週末、茨城まで走ろうよ！」なんて自分が言うようになるとは想像していませんでした……。



新入生のみなさんへメッセージ

- ・NC 入ったら人生変わるよ (変わらない)
- ・入るべき
- ・お金はちょっとかかるけど、いい経験を得られる
- ・大学入ってからロードバイクに乗り始めた人も多いので初心者に優しいサークルだと思います。一緒に楽しく走りましょう!
- ・レアキャラでも仲間に入れてくれる良いところですよ!
- ・兼サーでもいいので入って
- ・悩むことはない、ただ漕ぐだけだ
- ・名前はヤバそうなサークルだけど、歴史もしっかりしてて活動もかなりまとまってるサークルです。飲み会等もガチ運動部よりもおとなしくらいです。
- ・NC はほんとに居心地がよくて楽しいサークルです! 私は他大生で部活も入っていますが、行事に参加すると温かく迎えてくれてすごく楽しませてもらっています! ちょっとでも興味を持ったら絶対入るべき!!!
- ・自転車楽しいよ! 新歓で会いましょう!
- ・自転車に興味があるなら取り敢えず入っておきな〜。自然消滅余裕なので (笑)
- ・ゆるいので掛け持ちしやすいよ。
- ・ゆるくやってこー ^('ω')^
- ・とりあえず新歓ランに来てみて考えよう!
- ・楽しいサークルですよ! みんな言ってるけどインカレだからといってウェイサーではまったくありません
- ・自転車漕ぐのは楽しいよ!
- ・事故のない安全運転を心がけましょう

NC での思い出

- ・沖縄合宿
- ・特訓ラン
- ・夏合宿
- ・沖縄合宿。コミュ障なので話しかけられなかった人ゴメンナサイ名前は知ってマス
- ・北海道のバーベキュー
- ・冬合宿でみんなでフェリーに乗って大島に行ったこと
- ・沖縄合宿の古宇利大橋、風が強かった
- ・まあ、この時期に言われたら沖縄合宿でしょ! (笑)
- ・北海道の夏合宿でみんなで満天の星空を見に行っただけです☆
- ・沖縄の一日目の景色
- ・沖縄研修
- ・明神祭
- ・裏新歓のヤビツ

おすすめの道

- ・やまなみハイウェイ
- ・多摩湖
- ・下り or 平地
- ・筑波山
- ・ニライカナイ橋
- ・まだ分からないです
- ・坂がない道
- ・ヤビツ
- ・弥彦スカイライン
- ・どこでもいいけど、海沿いは走ってて飽きない。ただ、風が強いから注意。
- ・別府〜湯布院!!!
- ・やめといた方がいい道しか記憶にない…(笑)
- ・しまなみ海道 (走ったことない)
- ・…井の頭通り?
- ・しまなみ海道、木津川
- ・ナイトハイ高原牧場 (@北海道) からのダウンヒル
- ・サイクリングロード (楽)
- ・長尾台
- ・瀬谷駅→大船駅 右折、左折が少ない

新歓イベントなどでお会いできるのを楽しみにしています!



限界までから案外その8倍はいける

自転車はメーカーにこだわらなければ見た目を選んでいいと思います。笑

お金をかけて自転車の性能を上げるのもいい手だけど、お金がないなら筋肉をつければ良いと思う。

自転車最高

自転車に乗る時荷物はできるだけ軽くしよう背骨がおばあちゃんになります

YouTubeで「ie3saien」って検索すると、NC 準公式の俺のチャンネルが出てくるので、チャンネル登録よろしくー

サークルへの参加率はどれくらい?

- 6割くらい
- ほとんど
- 幽霊サークル員
- 合宿系は基本参加
- そこそこ
- ちょくちょく
- レアキャラ
- 8割
- 合宿そこそこ定サイたまに
- 6割
- きついランだけ。
- 1,2ヶ月に1回くらい
- 6、7割
- 定サイ半分、合宿7割出席
- 2回に1回程度
- …大体100%? (匿名性…)
- 7割くらい
- 高い
- 夏合宿までは月1
- 気が向いたら
- ほとんどなし

自転車関連にどれくらいお金使った?

- 20万
- 全然してない
- 必要に応じて
- 2万 (ウェア、チューブ、ライト)
- 40万くらい?
- 初期投資 18万
- 約20万円
- 稼いだ半分
- 20万円
- あんまし
- 数十万えん
- 15万弱
- 15~20万円程度
- Sセメは家計簿が赤字になるくらい初期投資したけど、今はだいぶ落ち着いた。消耗品を買い揃えるくらい。
- 10万前後
- 17万くらい?
- 5万円?
- 20万行かないくらい (本体で15万)
- ほぼ0
- 本体15万 ウェア関連2万 その他器具1万

中高時代の部活は?

- 陸上部
- 剣道部
- バレーボール 新体操
- サッカー、テニス
- 吹奏楽
- 帰宅部
- バレーボール部
- 陸上
- テニス部
- なし
- ボート部
- 水泳。何なら今も水泳。
- 6年間茶道部
- 陸上部、弓道部
- 卓球部
- 卓球部→帰宅部
- 硬式テニス部
- 野球
- 地学天文部
- 物理部

とにかく色んな人がいるから
きっと楽しい!
入部待ってます!

こんにちは。なかよしさいくる新2年で会報編集・Web・広報担当の植木です。ここでは、なかよしさいくるがどのような活動をするサークルなのかをまとめてみました。これから加入を検討する上での参考になればと思います。

4月：新歓ラン、新歓コンパ

・新歓ラン

新歓ランは、新入生のみなさんにママチャリとは全く違うスポーツ自転車の楽しさ、爽快感を知ってもらうためのイベントです。今年は **4/9, 16, 23, 30** に実施します。都内に点在しているサイクリングロードである、荒川サイクリングロードや江戸川サイクリングロードを走り、スポーツ自転車のスピードを体感してもらいます。**自転車やヘルメットなど必要なものはサークルから貸し出しますし、スポーツ自転車独特の乗り方は上級生がきちんと教えますので、初心者でもまったく心配ありません。**自転車の楽しさの虜になること間違いなし！ぜひ参加してみてください！え、でもロードバイクって高いんでしょ？と心配するかもしれませんが、**自転車などは1年生の間はサークルから借りることができますので、ゆっくりお金を貯めてから買うことができます！**例年、1年生は12月ころまでに自分の自転車を購入するようですね。

5月：定サイ、五月祭

・定サイ

定サイとは定期サイクリングの略称で、ほぼ月に1回開催され、東京近郊に日帰りでサイクリングをしに行くものです。土曜日または日曜日に行われます。

執行代（サークル内のいろいろな役職について運営をメインで行う代のこと、今の2年生です）が持ち回りでコースを考え参加者を募ります。1年生から時にはOBまで、幅広い層が顔を出します。海沿いを風に当たりながら走ったり、山に行つてがっつり走ったり、都心をまったり走ったりと、担当者の好みがいろいろと現れたりします。

・五月祭

3年生が中心となってお店を出します。1年生が手伝う必要はないので安心してください。

6月：新歓合宿、特訓ラン、定サイ

・新歓合宿(未定)

土日を利用して1泊2日のツーリングを行います。都会の喧騒から離れて自然の中で走るので、自転車の本当の楽しさを感じていただけたらと思います！6月の心地よい風を切って走っていくのはこれ以上なく楽しいですよ！

・特訓ラン

新入生に峠道を走るための技術や体力を身に付けてもらうための1泊2日の合宿です。スポーツ自転車といえど坂道を登るのはなかなか大変ですが、登り切った時の達成感、景色のよさ、下りの爽快感は病み付きになること間違いありません。このランでは車でのサポートがつくので、初めて峠道を走るという人も安心ですね。

7月：定サイ

8月：夏合宿

・夏合宿

辛い期末試験を終えたら夏休み！なかよしさいくるでは長期休暇ごとに合宿が行われますが、その中でも最も規模の大きいのが夏合宿です。一昨年は北海道へ行きました。自転車はタイヤを外して専用の袋に入れることで飛行機や電車に乗せることができる（輪行と言います）ので、東京から遠く離れた場所にも簡単に行くことができます。去年は新型コロナの関係で合宿が行えませんでした。今年度こそは実施できるようになってほしいですね。

メンバーの中には、合宿の前や後に有志を募って自転車旅を続ける人もいます。

（これを前ランとか後ランとか呼んだりします）。人によっては2週間、3週間と旅する人も！？

9月：秋合宿

・秋合宿

秋は夏よりやや短めの合宿を行います。一昨年は伊豆大島に行きました。フェリーや飛行機を使うことで、離島にだって自転車を持っていくことができます。

10月：後閑杯、定サイ

・後閑杯

なかよしさいくるで唯一の競技イベントで、富士山の麓から五合目までを繋いでいる富士スバルラインを登り、そのタイムを競います。タイムを見ると自分の成長ぶりを実感することができます。後閑杯には競技としての面だけでなく、自分の総力を見極め、安全意識を高めるという面もあります。

11月：駒場祭、定サイ(紅葉ラン)

・駒場祭

1年生のみで模擬店を出店します。このサークルは駒場祭では毎年焼きそばを出すという伝統(?)があります。ここで得た利益はサークル車のメンテナンスなどに使われます。駒場祭後に執行代の引継ぎが行われ、1年生が定サイの企画などをして行きます。

12月：定サイ

そろそろ年末&クリスマスな12月。私たちは相も変わらず自転車でお出かけします。公式のランではありませんが、イルミネーションを自転車で回るランをしたりします。これは自明にリア充ですよ！

1月：

1月はみんな学年末の試験で大忙しです。1月は勉強せざるを得ないです。

2月：定サイ(餃子ラン)

・定サイ

2月の定サイは餃子ランと呼ばれており、はるばる宇都宮まで宇都宮餃子を食へに行くという伝統があります。

3月：沖縄合宿、春合宿、追いコン

・沖縄合宿

3月の頭に、1年生のみで沖縄に行って走り回る合宿です。沖縄のきれいな景色を堪能するのはもちろん、トラブルへの対処能力を身につけたり、親睦を深めたりするのが目的です。私たちが行ったときも、本当に楽しい研修となりました。ぜひ参加してほしいです！

・春合宿

一泊二日程度の短めの合宿です。今年は霞ヶ浦を一周しました。

・追いコン

追いコンは「追い出しコンパ」の略で、なかよしさいくるを卒業する4年生の方々を送る会です。2,3年生が企画をします。

これらの他に、隔月で駒場で定例会が開かれています。基本的には第1土曜日を考えています。会報の読み合わせやランの報告などが行われます。一部の月にBBQ やボウリングなどメンバー同士の親睦を深めるイベントも考えています。

サークルの公式行事は以上です。

これだけしかないの？と思ったあなた！

なかよさいくるでは各人が個人ランと呼ばれるランを計画し、メーリスで参加者を募ることがしばしばあります。イルミネーションを見に行ったり、ひたすら峠道を走ったり、都会のスイーツを巡りに行ったりするなど、公式のランではできないようなランが数多く企画されます。自転車に関係ないものもあつたり… 興味のあるものにはどんどん参加してみてください！また、そのようなランの多くは、先輩たちが会報に詳細を載せてくれていますので、過去の会報をさかのぼってみてください！雰囲気があると嬉しいです！特に、轍は、いろいろな旅行記が書いてあるので面白いですよ！

こんなにあるの？兼サ-するからこんなに行けないよ？と思ったそのあなた！

なかよさいくるの行事は**すべて自由参加**です。かつたるいな-と思ったものには参加しなくてもまったく構いません！また、基本的に平日は活動がないので、勉強、バイト、他サークルとの両立もしやすいと思います。

最後に一言…

「なかよさいくる」という名前から、ウェイウェイ系のサークルではないかと思う方がいるかもしれませんが、実際はびっくりするほど健全なサークルです。男女比はいちじるしく男に偏っています(これもこれでどうかと思いますが)、お酒の強要・コールなどは一切ありません(これは断言できます)。自転車に対する姿勢も非常に真摯なものだと思っています。このへんの雰囲気は新歓行事に参加していただければわかると思いますので、ぜひ一度お越しください。

それでは、一同、皆さんの加入をお待ちしております。

自転車ってどんな種類があるの？

どれにする!?

車種紹介!

新入生の皆さん！こんにちは！入学おめでとうございます！

新二年生の安西です。anchor RA6 sport（ロードバイク）という自転車に乗ってます。

この記事では、ざっとスポーツサイクルの車種の紹介をしていきます。

「なかよしさいくるでは、どんな自転車に乗っているの？」「自転車いくら位するの？」「どれくらい走れるの？」ということも含めて紹介していきたいと思います！

この記事で紹介する自転車は、ロードバイク、クロスバイク、シクロクロス、マウンテンバイクの4つです。（自分が乗るのがロードなので少し偏り気味かもしれませんが。ご了承ください。）

ではでは、まずはロードバイクから！（なかよしさいくるでは、圧倒的にロードバイク乗りが多いです。）

ロードバイク Road Bike

——スピードなら誰にも負けません。



価格：10万円前後～

長所 舗装された道ならば、他の車種よりも長距離を速いスピードで進むことができる。軽い。

短所 舗装された道でスピードが出るように設計されているので、タイヤが最も細くダート（未舗装路）には向かない。

どんな自転車・・・？

もともと競技用自転車です。ツール・ド・フランスとかで使われているアスです。

見た目の特徴はドロップハンドルというグネッと曲がった触覚のようなハンドル。このハンドルのお陰で前傾姿勢になって風の抵抗を減らしたり、あるいは、上りの時に手前の方を

持つことで姿勢を起こして呼吸を楽にしたりと、様々な持ち方によって臨機応変に姿勢を変えて自転車にのることができたりします。あとは細いタイヤ。この細さのお陰でスピードでは圧倒です。一方でこれが未舗装路での弱さでもあります。また、フレームの素材には様々な種類があり、低価格から中価格に多い、比較的丈夫でまあまあ軽いアルミ素材、中価格から高価格向けの軽いカーボン素材、比較的重い昔ながらの味のあるクロモリ、さらにはチタンだったり様々なものがあります。なかよしさいくるでは、アルミが多いかな…？

どうやって楽しむ・・・？

ロードバイクの楽しみ方は色々…長距離走れる特性を活かして自転車旅行なんかでもできちゃいます。ちなみに現会長新三年生高畑さんは三日間で約800キロも走って実家に帰省したことも有みたいです（http://www.teamnc.net/online-magazin/pdf/14_shinnkann）。すごいですね……。また、エンデューロイベント（決められた時間を走る。耐久レースみたいなもの）に出たり、ヒルクライム（舗装された山道を登る）できます。自分の足だけで遠くへ行けるようになると、なんとも言えない達成感がありますヨ！とにかく舗装された道をスピードを出して走りたい方はこれで決まりかと思えます！

マウンテンバイク Mountain Bike

圧倒的走破性能



長所 未舗装路なら他の車種を圧倒。未舗装路向けゆえ頑丈。

短所 他の車種より比較的重く、タイヤも太いので舗装路では遅れをとるか。

どんな自転車・・・？

街によく放置されているマウンテンバイクっぽいのは実はマウンテンバイクではなくてマウンテンバイクルック車と呼ばれているようです。ルック車では未舗装路を走れるだけの頑丈さがないので、未舗装路を走るなら

値ははりますがちゃんとしたマウンテンバイクを買ったが良さそうですね。見た目の特徴は、ごっついフレームとまっすぐ伸びたハンドル、そして太いタイヤですね。マウンテンバイクにも種類があり競技や用途に応じてサスペンションが付いているものやないものがあるようです。

どうやって楽しむ・・・？

なかよしさいくではマウンテンバイクに乗る人はほとんどいないようですが、カナダ留学中の新四年生水野さんがカナダでのったことが有るようです（会報 2014.9 月号 http://www.teamnc.net/online-magazin/pdf/14_9）。ハマるとかなり楽しそう。未舗装のダートを駆け下りたり、ジャンプしてみたり、あるいはロードでは絶対にいけないような場所にも行けるようになったり。人の手が入っていない美しい自然なんかは、ダートの先のほうがありそうですね！。舗装路を走るぶんにも、問題が有るわけではないので、一台で色々してみたい！という人にはマウンテンバイクもありかも！

クロスバイク Cross Bike

イイトコどりの自転車

価格：5万円前後〜

長所 ロードバイクとマウンテンバイクの中間的存在でオールラウンダー。

短所 本格的に舗装路を走るならば、ロードバイクに遅れを取り、本格的にダートを走るならば、マウンテンバイクに遅れを取る。



どんな自転車・・・？

見た目の特徴としては、ロードバイクのドロップハンドルをまっすぐのハンドルにして、タイヤを太くしたもののような感じ。ロードバイクの苦手な未舗装路もある程度はOK。ロードバイクとマウンテンバイクのイイトコどりの存在。一方で、ロードバイクとマウンテンバイクの中間的存在なので、どちらか一方に偏った利用をするのであれば、やはりロードバイクやマウンテンバイクには劣るようです。

どうやって楽しむ・・・？

楽しみ方としては、ロードのようにもマウンテンバイクのようにも使えるため、長距離自転車旅行もオッケイだし未舗装路でもいける。とまあクロスでもサークルの活動に支障はないです。（でも舗装路メインのサークルなので、たくさん走っているとロードバイクが欲しくなるかも…）あとはレース用ではないゆえに、気軽に乗るならこれが一番ですね！

シクロクロス Cycro Cross

泥地でも走り抜ける競技自転車



長所 ドロップハンドルでありタイヤの太さも変えられる。オールラウンダー。

短所 舗装路での利用を突き詰めると、舗装道路専用のロードバイクにはさすがにかなわない・・・？

どんな自転車・・・？

なんとも説明にしにくく知名度も低いと思われる自転車。見た目の特徴はロードバイクにマウンテンバイクの太いタイヤをつけた感じです。本来は泥地悪路を駆け巡るレース用の自転車。それ故ダートでも行けます。また、ドロップハンドルなので、姿勢や感覚はロードに近く、スピードも出しやすいです。一方でやはり、MTB 同様、頑丈に作られている分ロードより重いようです。もともとシクロクロス競技はロードレース選手がトレーニングのために行ってたようです。先に書いたように、重量はロードよりも重く、タイヤは太めですが、タイヤに関しては、ロード用の細いタイヤも使用可能であり、ここまでしてしまえば、サークルで舗装路を走る場合はロードに引けをとらないかと思われます。

どうやって楽しむ・・・？

ロードよりがっちりしているので、荷物をロードバイクよりも沢山積むことが可能です。シクロクロスで自転車旅行している人も見たことがあります。よってツーリングにも向いています。さらに上記のように泥地を走ることも可能であり、タイヤの太さ次第でかなり幅広く楽しむことができそうです。なかよしさいくるで泥地を走るシクロクロス競技をやってる人は見たことが無いですが、基本的に自転車は何でもありの自由なサークルなので、シクロクロス競技を流行らせたい！という方は是非是非。



プチ FAQ

もっと知りたい自転車のこと

もっと自転車の種類ないの・・・？

上記の4つ以外にもランドナーやリカンベントバイクなど様々な自転車があります。気になった人はいるサークルの人に聞いてみてください！

自転車の購入は・・・？

今後、自転車ショップに行く企画も予定しています。購入の際に悩んだり、迷ったりしたら、うまくサークルを利用して下さいね！

ちなみに、なかよしさいくるでは一年生の間はサークルの自転車を貸し出しているのですが、今すぐにお金を払って買おうとすることができなくても全然大丈夫です。(というか、6月の時点で自分の自転車を持っている人は殆どいませんので安心してください！)

新車・備品購入報告

3年 植木

2年ぶりに通常通りの新歓イベントを実施することができ、新歓用 LINE グルに70人くらい新入生が入ってビビっている今日この頃です。新歓ランも連日貸し出し可能台数ちょっと越えくらいの人数に応募いただいている、倉庫の掃除と自転車の大整備大会を実施した後、可動台数を増やすため新車と整備用の備品を購入しようという話になり、蓄積されたサークル費を使わせていただいて4/6 新宿ワイズロードにて買い物をしました。購入したものの報告と、倉庫の整理で見つかったもの、さらにOBの方から物資を送っていただいたのでその紹介をしたいと思います。

購入した備品

まずは備品の紹介。チョイスは整備担当の金子で、選んだ基準は値段です。



左からケミカル(なぜか反転している)、エンド金具二つ、エンド金具用のナット三つ
左からエンドキャップ三つ、チューブ七本、整備スタンド一つ



新車

続いて新車の紹介です。



輸行中の写真ですが、GIANT Contend2 です。



こちらは Anchor の RL3。

4/13 の新歓ランから貸し出しています。大事に使ってください。

OB の方からの物資

念のため名前は伏せますが、OB の方から物資をいただきました。本当にありがとうございます。



箱がでかい！



MAVIC のホイール



Vittoria とコンチネンタルのタイヤ



チューブ、ワイヤー類、パテテープ、パンク修理キット

その他ケミカルやライト、クイックリリースなど頂きました。とても助かります。ありがとうございます。

倉庫にあったもの

倉庫の掃除をしたら、いろいろなものが見つかりました。



キャンプ用品。寝袋や BBQ 台、炭までありました。



ホイールを自作するための道具？



何かの大会のものもありそうですが一番右は「第1回ニコ研杯スマブラX大会」と書いてある
引き続き時間を見つけて倉庫の掃除・整理を続けたいと思っています。

東京→京都の旅 第2回

・はじめに

ご無沙汰しております。NC3年の金子です。あまりに怠惰なために前回から半年も経ってしまいました。気づいたら3年です。このペースだといつ完結するやら。相変わらずの駄文ですが、最後までお付き合いいただければ幸いです。

・前回のあらすじ

前は愛車自慢してたら第1回が終わってしまいました。あとは装備とルートの紹介くらい。いかに僕の愛車がかっこいいか伝わってれば嬉しいです。まあまだ魅力の1/10も語ってないんですけどね。(前回の記事は轍2021をチェック!) 今回からついにスタートです。人生初の自転車での長旅。いったいどんな旅になるのでしょうか。

・ 1 8/10 出発前日

出発前日。翌日からのハードな旅に備え、1日ゆっくりしていました。ついに始まるという興奮と不安で、モチベーションはどんどん上がります。そういえばスタート時間を決めていなかったの、一緒に行く友人のTにライン。



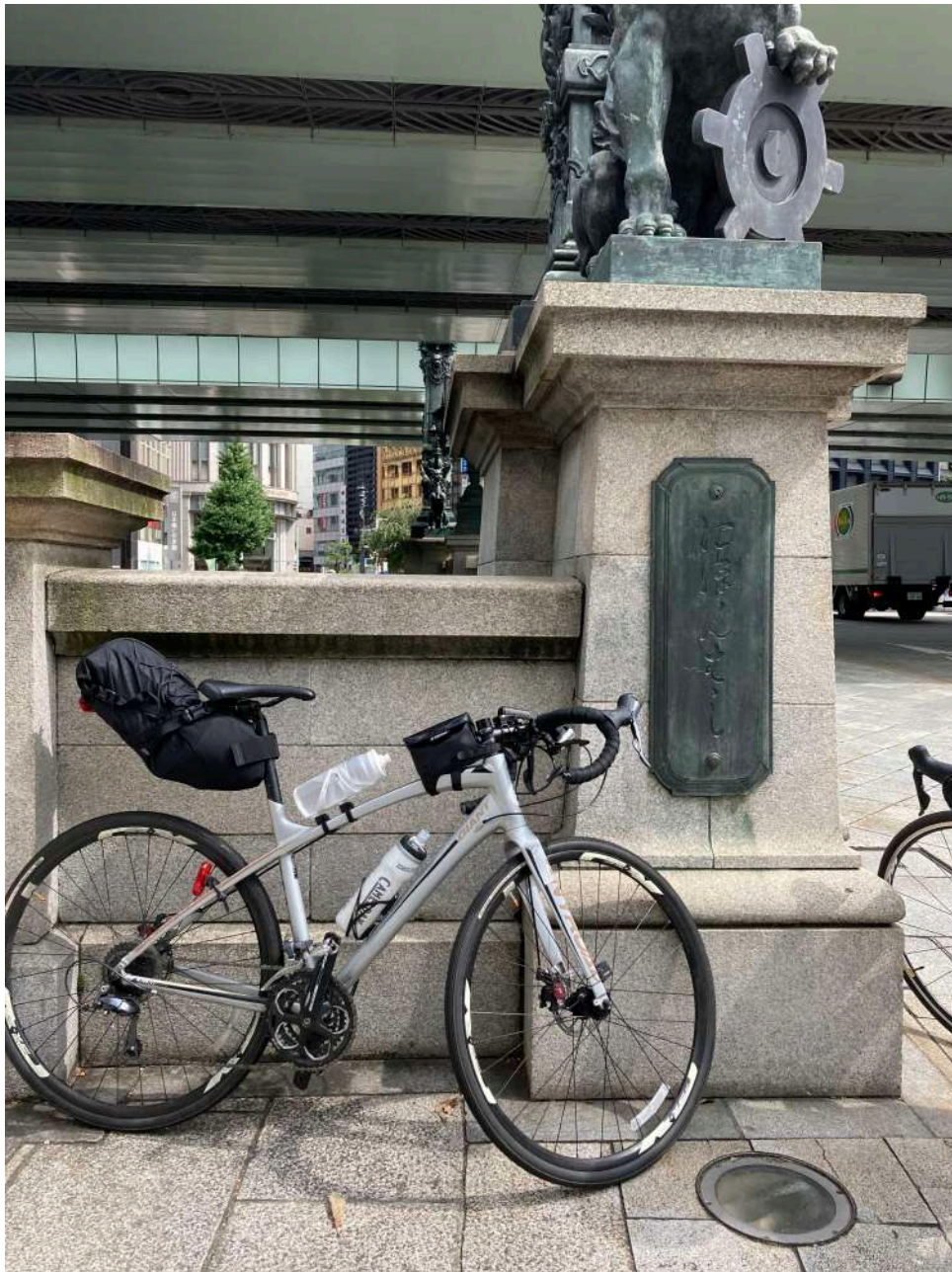
なんと彼は出発日を1日間違えてました。こんな漫画みたいなやりとりするとは思わなかった。というわけでスタートは1日遅らせることに。幸先が不安すぎる。行き場を失ったやる気に悶々としながら、一日を過ごしたのです。

・ 2 8/12 第1日目

朝7時に起床。川口の自宅からスタート地点の日本橋まで自走で向かいます。初めて荷物を積んで走ったのですが、これがまあ重い。漕ぎ出しに必要なトルクが大きすぎて、すぐに足がパンパンに。しかも重心が高いので曲がる時に怖い。ダンシングなんでもってのほか。こんな状態でいくつも山を超えて京都まで行けるのか、不安です。

小1時間走り、Tと合流。ちなみに彼は横浜の自宅から自走してきました。これから横浜に行くのに。気合いがすごい。東京駅と日本橋で写真を撮りいざスタートです。このときはまだ晴れ間がのぞいていました。このあと数日も太陽を見られないなんて思いもしなかった、





ひたすらR1を進んでいきます。首都圏は信号が多いのが鬱陶しいですが、道幅も広く車線も多いため楽に走れました。藤沢付近でK30に入りR134に合流。ここは海岸沿いの信号の少ないストレートで、めちゃくちゃ走りやすいのです。35km/hほどでかっ飛ばし大磯へ。ここまでは快調だったのですが、（快調すぎて写真が全くない）天気予報を見るとこの後は時間5mmの雨予報。すぐに予報通り雨が降ってきて一旦雨宿りしましたが、なかなか雨が止まなかったので、初日は小田原までということに。

1日目は110kmほど走りました。

※国道をR、県道をKで表記しています。



まだ顔が生き生きしてる

この日、大分から電車で帰省する友人がいたので、一緒に夕食を。我々二人の分を奢ってくれました。疲れていたのが23時ごろ就寝。



走った後の飯は至福

・ 3 8/13 第2日目

この日も7時に起きて8時に出発。しかし朝からひどい雨。この旅で最大の山越えが雨かと思うと気が滅入ります。しかも先月の土砂災害の影響で伊豆山付近の雨量制限が厳しくなっていました。最悪通行止めで輸行を余儀なくされる危険も。判断に迷いましたが、なんとか行けると信じて熱海へ。R135で行ったのですが、海岸線スレスレを走るので景色がとてもいい。ただ交通量が多いので走り易くはありません。写真も撮れなかったし。小一時間走って熱海に到着。幸い通行止めはありませんでしたが、雨は止みません。



そしていよいよ山岳区間へ。今回の熱海からのルートはR1や旧道で箱根を超えるのに比べ、距離は10kmほど長いですが、獲得標高が300mほど少なく済みます。僕は圧倒的に上りが苦手なので（荒サイ仕込みの平坦脚なのです）迷わずこちらを選びました。が、しかし。この熱函道路、かなりの急勾配の道だったのです。12%が2km近く続くようなやべえ坂で、県道11号ならめ険道11号と呼ばれるような激坂でした。ちゃんと調べてから行けばよかった、、 そんな激坂に登りド素人が総重量17kgのバイクで挑んだらどうなるでしょうか。自明にくたばります。あっという間に息が上がってしまい足もすっからかんに。あえなく自転車を降り、押して歩きました。歩いても漕いでも速度が変わらないようなところなので、降りた方が得だと言い訳しながら進みます。

なんとか峠を登り切り、待ちに待った下りです。ゆるい下りがダラダラと続く道で快適に進めます。しかし寒い。雨は降っているし気温も25℃ほどしかありません。まさか盆に凍えそうになるとは思わなかった。スイスイと進み沼津を抜け、富士へ。ところが富士市内でペースがガタ落ちしました。路肩が狭くみんな運転が荒い。函南での疲れも相まって、自転車に乗るのが嫌になり近くのマックへ避難。遅めの昼食をとり、一時間ほど仮眠をとりました。

気分も切り替えていざ出発！ と同時に雨足が強くなり、なんだか気分が悪くなってきました。どうやら胃もたれしたよう。ロングライドの時は油分が大敵です。この時以来マックには行ってません。身も心もボロボロですが、自分の足を回して進むしかありません。自転車って嫌なくらいストイックですね。気合いで足を進めこの日は静岡まで行きました。



顔が疲れ切ってる



夕食は昼の反省を踏まえ、そばに。しかもあったかいやつ。

これでまだ全体の半分も進んでいません。こんなんでも本当に京都まで行けるのか不安になりつつ、死んだように眠りました。結局この日も110kmほど走りました。

・あとかぎ

というわけで2日目までをお届けしました。このあたりは見所が多いので書くことが多いです。ちなみに東海道線の車内でこれを書いているのですが、自転車で走ったすぐそばを通るので見覚えある景色が多くて、思い出がフラッシュバックしまくりです。電車だと丹那は全部トンネルなので爆速です。ズルい。あんなにきつかったのに。

今回も最後まで読んでいただきありがとうございました。次回は3日目と4日目を書こうと思います。次回もお楽しみに～

編集後記

3年 植木港介

新歓の各イベントに来てくださっている1年生の皆様、ありがとうございます。新歓ランに参加していただいている方も予定が合わなかった方も、今後月一ペースで定サイをオープンに実施していく予定ですので、ぜひ積極的にご参加ください。皆様と自転車を楽しめるのを楽しみにしています。何かわからないことがあればTwitter(@nakayoshicycle)までお気軽にご連絡ください。また、会報も毎月このような形で発行しています。過去の会報が気になる方はぜひ公式HP(<http://www.teamnc.net/index.html>)をチェックしてみてください。

退任挨拶を前号で掲載したにもかかわらずまた編集後記を書いています。読んでくださっている方、ありがとうございます。

新車購入の記事にも書きましたが、新歓が大盛況です。貸し出し自転車が回らないので新歓ランを4回実施することになりました。これで人数が入ってにぎやかで潤滑なサークル活動が返ってくることを願うばかりです。

遅くなりすぎた代替わりの時期ですが、次期編集・広報担当が2年の斎藤さんに決まりました。彼は自分から編集をやりたいと言ってくれたのでその場で任命しました。ありがたい限りです。ほかにやりたいと思っていた方がいたら申し訳ないです。次号の会報からは彼の担当となります。ぜひたくさん記事を寄せてください。また、定サイ等の実施も順次2年生に下していく予定です。サークルの行く先を楽しみにしています。